

2008.1.25

センター試験も何とか終わり、そろそろ年度末の整理作業であわただしい毎日が続きます。お元気ですか。男女共同参画WGです。今回は、1月21日に開催された男女共同参画推進委員会での提案を中心とした話題をお送りします。

ワーク・ライフ・バランス推進の一環として年次有給休暇取得の積極的促進を！！

●「ワーク・ライフ・バランス」の推進とは？

老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など様々な活動について、自分の希望するバランスで展開できるように支援すること。

このことは、「仕事」と「仕事以外の生活」の好循環をもたらし、多様性に富んだ活力ある組織創出の基盤となるものです。

●ワークライフ=バランス推進のための具体的な取り組み

1. 年次有給休暇の計画的な（3ヶ月単位）取得促進

2. 有給休暇取得目標（20年度）：H18年度の1.5倍相当日数

教員の60%以上が年10日間以上の有給休暇の取得

附属学校教員の60%以上が年間14日間以上の有給休暇の取得

事務系職員の60%以上が年間15日間以上の有給休暇の取得

医療系職員の60%以上が年間12日間以上の有給休暇の取得

非常勤職員の60%以上が取得率60%以上の有給休暇の取得

3. 大学としては、特に管理職の意識改革を進め、年次有給休暇をとりやすいような環境作りに努める。

「女性研究者支援モデル育成」（科学技術振興調整費）に申請することが決定！！

1件5000万円の助成で、最大3年間継続、終了後もシステムの維持・継続が必要

課題名を大募集！！ 皆様のアイデアをお寄せ下さい。

●島根大学としては、現在以下の要領で申請書類の作成を急いでいます。

課題名（仮題）『条件不利地域に立地する地方大学方女性研究者支援モデル』

都会からは少し隔絶した地域に立地する地方総合大学であり、

若手を多く登用する大学として、女性研究者の仕事と家庭の両立を支援する。

主要事業

1. 男女共同参画室の設置による継続的な女性研究者支援アドバイザー配置
2. ユビキタス・リサーチによる在宅研究継続システム
3. 単身赴任支援と夫婦同居への取り組み---人材バンクシステムの設置・活用
4. 育児・介護期の女性研究者支援
5. 意識啓発活動
6. 女性研究者の積極的育成支援
7. 地域連携によるキャリア・パス支援
8. 島大ポジティブ・アクションの推進--女性研究者の割合を高めるための行動プラン

●課題名について、もっとインパクトある魅力的なキャッチコピーを募集しています。

皆さんのアイデアをお寄せ下さい。 締切りは2月8日（金）

あて先は kyodo-sankaku@jn.shimane-u.ac.jp

「島大子育てネット」の登録を受付中？

「島大子育てネット」を立ち上げ、メンバーによるメーリングリストをつくり、楽しく情報交換を行なっています。

子育てネットには、子どもの有無や性別・年齢に関係なく、子どもに関心のある教職員の方ならだれでも参加可能です。

子育てしながら働きやすい職場づくりについて、一緒に考えてみませんか。

メンバー登録をご希望の方は、法文学部の片岡までご連絡ください。

(メールアドレス kataoka@soc.shimane-u.ac.jp)

編集後記

男女共同参画推進WGでは、老若男女含めて働きやすい職場の実現を目指して、今年度は様々な取り組みを行なってきました。皆様の一層のご支援を頂きますよう、お願いいたします。

このメールマガジンについてのご意見・ご質問等は

kyodo-sankaku@jn.shimane-u.ac.jp

まで お願いいたします。

★ お願い ★ このメールマガジンは、島根大学の構成員全員にお伝えしたい内容を掲載しております。allstaff宛のアドレスにお送りしていますが、学部によっては講座の代表者の方にしか届かない設定がされているところがあるよ

うです。そのような場合は、代表の方が講座内のスタッフ全員に転送・配信下さいますようお願いいたします。また、PC環境にないスタッフがおられる講座等では、たいへんお手数ですが、プリントアウトして回覧していただければ幸甚です。